

学校法人 東京聖徳学園

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ
第47号
平成22年4月1日
発行
学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ 東京聖徳学園 検索
http://www.seitoku.jp/

主なトピックス

- ・平成21年度 卒業式・卒園式
- ・第62回 千葉県小・中・高校書初め展 団体賞・個人賞受賞
- ・保育科 異学年が協力し、課題に取り組み「学生フォーラム」を実施
- ・児童学科・社会福祉学科 卒業研究美術作品展 学生のアイデアあふれる力作が集結
- ・教員インタビュー 人間栄養学科講師 柳沢 香絵 先生 管理栄養士として選手を支える
- ・施設見学実習 幼児教育専門学校
- ・第25回 卒業演奏会(音楽科) 取手聖徳女子中学校・高等学校
- ・進化する造形展へ 第3回 千葉県私立小学校造形展
- ・「お花が咲いたよ!」 附属小学校
- ・「花育」に取り組みで 附属幼稚園
- ・平成22年度 保護者会・後援会 開催日程

INDEX

学園	1
大学院・大学・短大	1~5
幼児教育専門学校	5
附属女子中・高	1・5
取手聖徳女子中・高	5
小学校	6
幼稚園	6~7
インフォメーション	8

より豊かな未来に向け ISO認証を更新
聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。
その後も、高品質でより良い教育を可能にするシステムと地球環境を守る管理システムを継続した結果、平成21年2月に認証を更新しました。国際機関の定める規格を高いレベルで更新したことにより、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を展開します。

ISO 9001
(教育の質マネジメントシステム)
ISO 14001
(環境マネジメントシステム)

ご意見/ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報紙です。本紙に関するご意見、ご感想を下記サイトにて受け付けております。
<http://www.seitoku.jp/gakuen/toiawase/>
「その他のご意見・お問い合わせ」まで

卒業式・卒園式



平成二十一年度の聖徳学園の卒業式・卒園式は、三月三日(水)、附属中学校 高等学校に始まり、六日(土)、附属聖徳中学校・聖徳高等学校、七日(日)、幼児教育専門学校、十二日(金)、十三日(土)、大学院、大学、短期大学部、十六日(火)、附属小学校、十七日(水)、附属幼稚園、三田幼稚園、十九日(金)、附属第二幼稚園、多摩中央幼稚園、二十日(土)、附属浦安幼稚園、八王子中央幼稚園、二十一日(日)、附属第三幼稚園と挙行されました。

笑顔溢れる園児、緊張しながら整列して卒業証書を受け取る児童、涙をうかべながら退場する学生、そして附属中高の卒業式では礼法の所作に則り、許状を受け取る生徒の姿が印象的でした。大学では川並弘昭学長か



ら、「聖徳で学んだ『和』の精神を胸に、本学で学んだ多くのことを生かして社会に貢献し、それぞれの道のプロとして、なくてはならない存在として大いに活躍してほしい」との言葉が贈られました。

卒業生・卒園生の合計は二千六百五十九名にのぼり、今年も社会に広がる聖徳の輪が一層大きくなりました。

二月十五日(月)から二十八日(日)まで、人間栄養学科とイクスピアリ内のレストラン「自然派ダイニング 響の詩」とのコラボレーション企画、「大学生が提案するレシピウィーク」聖徳大学コラボ☆食彩ランチビュッフェ」が開催されました。人間栄養学科の学生が考案した全六十一点のオリジナルメニューが、考案者のコメントとカロリーが表示されたプレートと共に、ビュッフェスタイルで並べられました。

今回は「ブリのベーコン巻きロースト」を考案した、人間栄養学科二年の矢野裕加里さんのレシピを紹介します。

矢野さんに今回の感想を聞くと、「実際、レストランに行った時、自分のレシピがプロの調理によって商品になって、しかも美しく盛りつけられているのに驚きました。

このメニューは、アスパラのベーコン巻きから思いつきました。『千産千消(千葉産食材を千葉で消費する)』ということでブリを使ってみました。ブリを小さく切れば、お弁当のおかずにもでき、また、ブリとベーコンだと色が似てしまうので、野菜を巻いたりすれば、おいしくアレンジできます」とのこと。

レストラン開発課長の小島シェフは、「女性らしい視点や

「聖徳で学んだ『和』の精神を胸に、本学で学んだ多くのことを生かして社会に貢献し、それぞれの道のプロとして、なくてはならない存在として大いに活躍してほしい」との言葉が贈られました。

卒業生・卒園生の合計は二千六百五十九名にのぼり、今年も社会に広がる聖徳の輪が一層大きくなりました。

矢野さんに今回の感想を聞くと、「実際、レストランに行った時、自分のレシピがプロの調理によって商品になって、しかも美しく盛りつけられているのに驚きました。

このメニューは、アスパラのベーコン巻きから思いつきました。『千産千消(千葉産食材を千葉で消費する)』ということでブリを使ってみました。ブリを小さく切れば、お弁当のおかずにもでき、また、ブリとベーコンだと色が似てしまうので、野菜を巻いたりすれば、おいしくアレンジできます」とのこと。

レストラン開発課長の小島シェフは、「女性らしい視点や

作ってみよう! ブリのベーコン巻きロースト



- 材料(1人分)
ぶり:80g、塩:0.4g、胡椒:0.01g、白ワイン:1.4cc、オリーブ油:1g、ベーコン:30g、レモン:1/8個、ミニトマト:10g、レタス:15g
- 栄養価(100gあたり)
エネルギー:255kcal
たんぱく質:14.4g
脂質:20.4g、塩分:0.8g

作り方

- [1] ぶりは切り身を3等分にし、塩・胡椒・白ワイン・オリーブオイルを上から順にふり、軽くもみこんで下味をつける。
- [2] ベーコンは半分の長さに切り、3等分にしたブリをそれぞれくりと巻いて、身のところで重ね、楊枝でとめる。
- [3] フライパンにオリーブオイルを馴染ませて [2] を並べ、ベーコンがこんがりとするまで中火で2~3分焼き、裏返してふたをする。弱火し、2分ほど焼いて中まで火を通す。
- [4] ふたを取り、火を強めて表面をカリッとさせたら、イチヨウ切りにしたレモンと、ヘタを取って半分に切ったプチトマト、適当な大きさにちぎったレタスと共に盛り合わせる。

人間栄養学科 学生考案のメニューが レストランを彩る



矢野 裕加里さん

二月七日(日)、千葉県立美術館講堂において、「第六十二回千葉県小・中・高校書初め展」授賞式が千葉県教育委員会、千葉日報社、千葉県内書道関係者のご臨席のもと挙行されました。

今回の書初め展には、一月初旬に千葉県内より総点数十四万三千六百七十七点の出品がありました。

第一次選考会として一月中旬に県内十七プロッ

クに分かれての地区審査会で、特別賞選考のための中央席書会参加者四百八名(小学校二百二十九名・中学校九十一名・高等学校八十八名)を決定し、一月二十四日(日)、千葉県総合運動場体育館において特別賞選考のための中央席書大会が行われ、審査結果が二月一日(月)に千葉日報で発表されました。

審査の結果、団体賞では、附属高等学校が最優秀団体賞の「千葉県知事賞」に輝き、二十五回目の知事賞受賞となりました。さらに個人賞では高校一年生の中久木恵さんが高校の部の特別賞として、中国明時代の王鐸の書風を基盤として優れた書表現を発揮して、「書星会長賞」を受賞しました。

また、東葛南地区代表として中央席書大会に出場した中越純美さん(高二)、小泉綾香さん(高二)、渡邊真愛さん(高二)、八木あずささん(中二)、大木彩歌さん(中一)の作品は「書星会長賞」を受賞した、中久木さんの作品と共に二月二日(火)から二月七日(日)まで千葉県立美術館に展示されました。



二十五回目の「千葉県知事賞」に輝く!
第六十二回 千葉県小・中・高校書初め展
団体賞「千葉県知事賞」
聖徳大学附属高等学校
個人賞「書星会長賞」
中久木恵さん(高校一年)

梅 敬 入 風 香

また、東葛南地区代表として中央席書大会に出場した中越純美さん(高二)、小泉綾香さん(高二)、渡邊真愛さん(高二)、八木あずささん(中二)、大木彩歌さん(中一)の作品は「書星会長賞」を受賞した、中久木さんの作品と共に二月二日(火)から二月七日(日)まで千葉県立美術館に展示されました。

また、東葛南地区代表として中央席書大会に出場した中越純美さん(高二)、小泉綾香さん(高二)、渡邊真愛さん(高二)、八木あずささん(中二)、大木彩歌さん(中一)の作品は「書星会長賞」を受賞した、中久木さんの作品と共に二月二日(火)から二月七日(日)まで千葉県立美術館に展示されました。

キャリア支援室

学内企業合同セミナー開催

二月十日(水)、学内企業合同セミナーを大学体育館で開催しました。当日は、この不況下でも新卒採用を積極的に実施する企業二十八社と、企業への就職を希望する三百五十名を超える...



セミナーに先立ち行われた「出陣式」では、就職委員長の重嶋博教授から、温かい激励の言葉がありました。そして、大学教職員を代表して生涯学習課の別府チーフからのエールの後、キャリア支援室の菊入室長...

体育館におけるセミナーは、一クールを三十五分として、全企業が一斉開始。一斉終了する形式で、全五クールを実施しました。さらに、体育館のセミナーと並行して別会場では、栄養士に特化したセミナーが実施され、異なる業界の採用担当者からの話は、学生が今後をイメージする上で大変有意義なものでした。

各会場では、企業の説明を聞く真剣なまなざしや、メモを取る姿がいたるところで見られ、「何事にも真摯な気持ちを持って真面目に取り組み」という本学学生の一番の特長が表れていました。また、学生からも「いろいろな業界の企業について知ることができ、視野が広がりました」「就活に対する意欲がわきました」「自分の周りの仲間が就職活動に前向きな姿勢で取り組んでいるのが見られて、刺激を受けました」などの声が聞かれ、就職活動のスタートを告げるセミナーになりました。

各会場では、企業の説明を聞く真剣なまなざしや、メモを取る姿がいたるところで見られ、「何事にも真摯な気持ちを持って真面目に取り組み」という本学学生の一番の特長が表れていました。また、学生からも「いろいろな業界の企業について知ることができ、視野が広がりました」「就活に対する意欲がわきました」「自分の周りの仲間が就職活動に前向きな姿勢で取り組んでいるのが見られて、刺激を受けました」などの声が聞かれ、就職活動のスタートを告げるセミナーになりました。



合格者数速報

Table showing enrollment statistics for public elementary, middle, and high schools, kindergartens, and daycares. Total counts are 128, 2, and 71 respectively.

平成二十一年度学生表彰が決まる

二月二十七日(土)、大学一号館香順メディアホールにて、学生表彰式が行われました。この表彰は、平成二十一年度の学友会活動、クラブ活動、個人活動などにおいて特に功績のあった...



学生に対して学長から表彰するもので、多くの先生方にご参列いただき、和やかな雰囲気の中で行われました。当日は、雨模様でしたが後援会役員の方々に、三団体と五名の個人に対して賞状が授与されました。学長の挨拶では、受賞された方々へのお祝いの言葉に加え、これを機会に日々努力し、ますます自己研鑽に励んでほしいというお話がありました。

受賞者と受賞理由

Table listing award recipients and their reasons. Recipients include members of the Student Association, Art Club, and various students from different departments.



連携協力校(園)の紹介 Vol.4

前回に引き続き、教職研究科の学生が総合実習の授業において、学校経営や教育活動を総合的に体験する連携協力校を紹介いたします。

- List of partner schools including: 松戸市立高木小学校, 松戸市立常盤平第二小学校, 松戸市立殿平賀小学校, 松戸市立北部小学校, 松戸市立馬橋小学校, 松戸市立八ヶ崎第二小学校, and 聖徳大学附属小学校. Each entry includes school name, principal, address, phone number, and key features.

聖徳大学大学院 教職研究科

教職大学院 ニュース

第7回

保育科

異学年が協力し、課題に取り組む「学生フォーラム」を実施

短期大学部保育科は、文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」(テーマA)「大教育学推進プログラム」に採択され、平成二十一年度から三年間にわたる事業を実践しています。テーマを「自ら考え行動しチーム貢献できる保育者養成」異学年共同コミュニケーションによる課題学習とし、昨年七月から金曜日一限を活動時間と位置づけ、一年生と二年生が一緒に活動する二十...

このフォーラムを体験したことにより、一年生と二年生が協力して同じ課題に取り組み、自分たちが考え、実践したことをポスターという表現方法で確認でき、次の課題への足がかりとなりました。

「自ら考え行動しチーム貢献できる保育者養成」異学年共同コミュニケーションによる課題学習とし、昨年七月から金曜日一限を活動時間と位置づけ、一年生と二年生が一緒に活動する二十...



児童学科・社会福祉学科

卒業研究美術作品展

学生のアイデアあふれる力作が集結

児童学部児童学科および人文学部社会福祉学科四年生による「卒業研究美術作品展」が、二月四日(木)から五日(金)まで、大学八号館クリスタルホールにて開催されました。作品数は、およそ七十点あり、絵本、玩具、写真など、保育の現場ですぐにでも使用できる作品だけでなく、芸術性の高い作品も多く見られました。今回は三作品について、二人の学生に感想を伺いました。

児童学科幼稚園教員養成コース
四年 酒井 絵里奈さん



作品名「欲望の塔」

作品について

制作のきっかけは、紙粘土で食品を制作する授業の時に、卒業研究ではもっと大きなものに挑戦したいと感じたからです。この作品の面白い点は、食べたいけど、実際は食べられない、そこで欲望が湧いてくることです。

後輩に一言

今まで紙粘土の楽しさは、「作る」ことだけとと思っていました。けれども、「完成したものを見る」ことも楽しみの一つであると発見しました。題材は、自分の好きなものであれば、行き詰ったときも楽しんでいきます。

入学センター 次代の「ヒロイン」を！ 学生スタッフ研修

聖徳大学のオープンキャンパスに欠かせない存在、「学生スタッフ」。彼女たちは受験生・保護者の方に、笑顔で丁寧な本学のよさを伝えてくれる「イベントのヒロイン」的存在です。

入学センターでは、新たに「ヒロイン」として活躍してもらう学生に、例年春と秋の採用時、スタッフ業務の研修を実施しています。今年はこの

れにもう一歩踏み込んで、「考えられるヒロイン」になってもらうことを目標に、グループワークを取り入れました。

テーマは「学生スタッフは来校者に何を与えられるのか?」。

学生は五人ほどのグループでこのテーマについて話し合います。さまざまな意見が出ましたが、不思議なことに

児童学科小学校教員養成コース
四年 岩瀬 ゆりえさん



作品名「ねんどぼうや」「はっぴいあーと」

作品について

授業で粘土のキャラクターを造り、それを日常の空間に置いて写真を撮ったのが、とても面白く、この写真集をいつか作りました。粘土で作った「ぼうや」と「犬」を、さまざまなシーンに置いて撮影することで、場所、背景を見つめました。

後輩に一言

特に、一般の写真集のように次々と自然に場面を変えていくために、写真の順番を決めるのが、難しかったです。

はっぴいあーと

この作品は、身近にあるものをアートにしたいという思いから、「からだに身に付けること」で新しいものができるということを表現してみました。

後輩に一言

最初は自分にはできないと思いましたが、自分の限界を決めないで好きなことをやる方が、よい結果になります。私はインドアタイプでしたが、写真を撮ることで外に出て景色を見て、些細なことでも面白いと思うようになり、視野が広がりました。

どのグループからも共通したキーワードが出てきました。それは「安心感」です。

受験生は進路決定の際、多くの不安や悩みを抱えます。受験勉強のこと、希望進路のこと、大学生活のこと。つい数年前まで受験生だった学生スタッフには、それがよく分かります。このグループワークを通じて、学生自ら、職員のお仕着せでない「ヒント」をつかんでくれたようです。

四月になり、新年度のオープンキャンパスも始まります。



オープンキャンパス日程

4月18日(日) 13:00~16:00
5月2日(日) 10:30~17:00

教員インタビュー 人間栄養学科講師 柳沢 香絵 先生

管理栄養士として選手を支える

今年二月にバンクーバーで行われた第二十一回オリンピック冬季競技大会では、日本チームはスピードスケート男子五百メートルでの銀、銅メダルを皮切りに合わせて五つのメダルを獲得しました。今回は、このバンクーバーオリンピックの舞台に、(財)日本スケート連盟からスピードスケートの科学スタッフ(管理栄養士)として派遣された人間栄養学科 柳沢香絵先生から、現場での体験談を交えながら、スポーツの現場における管理栄養士の仕事についてお話ししていただきました。



スポーツの世界における管理栄養士の役割とは?

オリンピック大会期間中の仕事とは?

オリンピックなどの試合期間に限らず通常の練習期間などにおいても、選手やチームの栄養サポートを行うのがスポーツ現場の管理栄養士の仕事です。とくにオリンピックでの栄養サポートが取り上げられる傾向にあります。オリンピックイヤーに至るまでの準備期間における選手の体づくりのサポートなどは選手の競技力向上のための重要なポイントです。

バンクーバーオリンピックの大会期間前に想定していた栄養サポートは①試合と練習後の補食の提供、②スケート連盟が借りた現地のサポートハウスでの軽食の提供、③体調不良者の栄養補給でした。この三つのうち幸いなことに③のサポートをすることはありませんでした。しかし、現地において突発的に発生したのが、④選手村に持ち込む料理の提供でした。選手村食堂の食事が合わないという声が多く上がったことへの対応でした。

準備期間の仕事とは? 私がスケート連盟の科学スタッフになったのは、トリノオリンピック(第二十回オリンピック冬季競技大会(二〇〇六/トリノ))直後でした。オリンピックイヤーを迎えるまでの準備期間では一貫して次のオリンピックでメダルを獲得することが強化の方針でした。そういった方針のもと、栄養サポートでは、合宿・遠征時の宿泊先の献立の調整など食環境の整備を中心とした活動を行いました。それ以外に合宿先などでは選手個別に対して具体的な食事指導などを行いましたし、チーム全体に対して栄養に関する講義をすることもありました。また、このような活動を通じて、私が準備した食事や補食などを「安心して食べる」ことができる「信頼関係を築く」ことも必要でした。

補食では炭水化物を多く含む食品を用います。練習後や試合後にできるだけ早いタイミングでエネルギーを補給することができ、疲労軽減や疲労からの回復を助けます。今回は、リンク内にあるアスリートラウンジや選手村の食堂で食べることでできない「おにぎり」を作り(写真)、また、糖質補給用の「ゼリー」なども準備しました。おにぎりはでんぷんで腹持ちがよく、ゼリーは二糖類で血糖値がすぐ上がるというように糖質のタイプが異なります。

選手は練習後、大会前に想定していた以上に頻りにサポートハウスを活用してくれました。そこでのメニューは、補食と同様にエネルギー源となる炭水化物がしっかりとれることを主な目的とし、さらに



競技会場(ロッカールーム)での補食



なりましたが、大会に向けた準備期間があり、オリンピックという制限が非常に多い特殊な環境下における特別なサポート活動といえるでしょう。

今回の結果については? スピードスケートに関していえば、体調を崩す選手も出ず、ほとんどの選手が実力どおりの結果を出すことができましたと評価できるようです。サポートスタッフとしては何よりです。また、その結果、メダルにつながり、正直なところホッとしました。

在学生に一言

これから管理栄養士をめざす人には、体や食べ物に関する知識を身に付け、多くの経験を積んでほしいですね。多くの知識を習得し、状況によって理論立てていくことができるとスポーツの現場における複雑な問題に対応できないと思いません。現場ではスタッフの数が限られます。各分野の専門家がその分野では幅広い仕事をすることになります。今回私がおこなったように、料理の腕も栄養サポートには必要になるわけです。

スポーツ栄養の重要性はここ数年で定着してきたように思います。栄養関係の仕事として人気も上がりました。しかし、一見すると華やかな世界ですが、それを支える活動は地味で、残念ながら職場も多くはありません。狭き門です。ですから、勉強会や研究会などを通じて情報を収集しておくこと、管理栄養士としての知識や技能を身に付け、数少ないチャンスを見逃さないための準備をしておく必要があるでしょう。

*サポートハウスとは、(財)日本スケート連盟がスピードスケート会場近くのリッチモンドに借りた施設のこと。滑走の映像を確認する環境も整い、スケート靴の調整器具、トレーニング器具なども備えていた。

総合文化学科

「短期大学部国語国文学会」

大会を開催しました！

二月六日(土)、本学にて、短期大学部国語国文学会大会を開催しました。本学会は、短期大学部総合文化学科文芸・編集、図書館司書ブランチ所属の教員および学生で構成されており、大会は日ごろの研究成果を発表する場になっています。

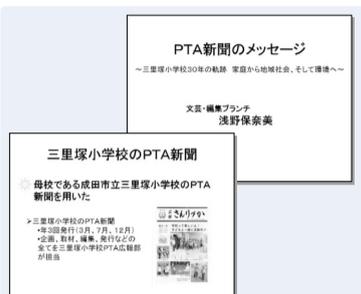
まず学生の卒業研究から、浅野保奈美さん(文芸・編集、二年)が「PTA新聞のメッセージー」三里塚小学校三十年の軌跡 家庭から地域社会、そして環境へ」を、香澤美緒さん(同)が「巨人の星のメッセージー涙の考察による大人と子供の違い」をテーマに発表しました。

香澤さんは、漫画『巨人の星』の涙を分析し、星飛雄馬の流す涙が自分や身内に対して流す涙がほとんどで、他者のために涙する花形とは対照的であると指摘しました。

続いて、野中博史総合文化学科教授が「メディアと



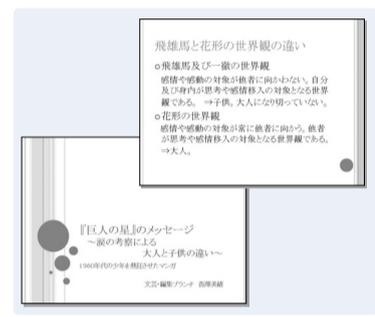
浅野保奈美さん



コミュニケーションメッセージの取得と思考・感情の形成」花輪茂道人文学部心理学科教授が「松戸の歴史と文化と文学」という演題で講演をしました。野中教授は、新聞の見出しなどのメッセージに人間がいかに騙されやすいか、実験を



香澤美緒さん



今回は学会として初めてメディア学や漫画論が登場しました。本学会のさらなる研究の進展と広がりが期待できます。



花輪茂道教授



野中博史教授

通じて明らかにされました。そして、アーサー・コナン・ドイルの「(人は)知らず知らずのうちに、事実の方を曲げがちになる」という言葉を引用し、情報への接し方や思考の仕方に潜む危険性を指摘しました。花輪教授は定年を迎え、最終講義として、松戸の歴史や文化にかかわる逸話を紹介しました。

書道研究部

学生の若さあふれる力作が集結



人文学部 日本文化学科書道文化コースをはじめとする学生が所属する、聖徳大学書道研究部による「平成二十

一年度聖徳大学書道研究部展」が、一月三日(水)から七日(日)まで、松戸市文化ホール内の市民ホールにて開催されました。

今回は、初の試みとなる大規模な展覧会で、研究部に所属する日本文化学科、児童学科、人間栄養学科の学生、四年生から一年生まで、総勢二十名が参加しました。さらに、賛助作品として、日々、学生の指導にあたっていらっしゃる先生方の作品も加わり、とても華やかな展覧会となりました。出展総数は、三十七点にのぼります。その内容は「漢字」かな「篆刻」と、非常にバラエティーに富み、さまざまな書

に触れることができる。同時に、それらの筆跡は、学生のみならず、感性や力強さを感じさせるものでした。当日は、来場者一人ひとりに作品の解説をする学生の姿が見られました。

開催に際して、部長の郷野多恵子さん(日本文化学科三年・写真前列右から二人目)は、「多くの人に『書』というものを知ってもらいたい。初めの試みとして企画しました。メンバーは女性のみなので設営作業などでは苦労しました。また、親しみを持ってもらうために、作品だけではなく、聖徳祭



合格 おめでとう！

本年度も、本学園の卒業生たちがそれぞれの学び舎で新しい生活をスタートさせています。聖徳大学・聖徳大学短期大学部・聖徳大学附属女子中学校・聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・聖徳大学附属小学校をはじめ、多くの大学・高等学校・中学校・小学校などに合格しております。

附属女子高等学校 聖徳大学、聖徳大学短期大学部、お茶の水女子大学、首都大学東京、上智大学、東京理科大学、青山学院大学、中央大学、法政大学、明治大学、立教大学、津田塾大学、東京女子大学、日本女子大学、国学院大学、成蹊大学、成城大学、獨協大学、武蔵大学、駒澤大学、東洋大学、日本大学、東京音楽大学、桐朋学園大学、国立音楽大学、武蔵野音楽大学、洗足学園音楽大学、桜美林大学、大阪芸術大学、大妻女子大学、神田外語大学、京都女子大学、共立女子大学、恵泉女子学園大学、国士館大学、実践女子大学、順天堂大学、尚美学園大学、昭和女子大学、白百合女子大学、清泉女子大学、太正大学、大東文化大学、高千穂大学、拓殖大学、玉川大学、千葉商科大学、中央学院大学、帝京科学大学、帝京平成大学、デジタルハリウッド大学、東京家政大学、東京電機大学、東京農業大学、東邦大学、東洋学園大学、日本女子体育大学、フェリス女学院大学、文化女子大学、文教大学、明海大学、立正大学、青山学院女子短期大学、共立女子短期大学、自由が丘産能短期大学、淑徳短期大学、女子栄養大学短期大学部、女子美術大学短期大学部、

取手聖徳女子高等学校

聖徳大学、聖徳大学短期大学部、筑波大学、茨城大学、茨城県立医療大学、法政大学、関西大学、日本大学、東洋大学、専修大学、京都女子大学、国際医療福祉大学、実践女子大学、淑徳大学、順天堂大学、杉野服飾大学、洗足学園音楽大学、大東文化大学、つくば国際大学、帝京大学、東京音楽大学、東京女子医科大学、東京女子体育大学、日本医療科学大学、日本女子体育大学、日本体育大学、日本薬科大学、文化女子大学、武蔵野音楽大学、明海大学、流通経済大学、和光大学、昭和音楽大学、短期大学部、東京女子体育短期大学、常磐短期大学、日本体育大学短期大学部、文化女子大学短期大学部

附属小学校

男子 郁文館中学校、市川中学校、上野学園中学校、栄光学園中学校、江戸川学園取手中学校、海城中学校、開成中学校、開智中学校、春日部共栄中学校、慶應義塾中等部、京華中学校、埼玉栄中学校、栄

女子

聖徳大学附属女子中学校、聖徳大学附属取手聖徳女子中学校、市川中学校、浦和美学園中学校、江戸川学園取手中学校、大妻中学校、開智中学校、かえつ有明中学校、春日部共栄中学校、共栄学園中学校、慶應義塾中等部、麹町学園女子中学校、国府台女子学院中学校、香蘭女子学院中等科、栄東中学校、志学館中等部、実践女子学園中学校、常総学院中学校、女子学院中学校、女子聖学院中学校、駿台学園中学校、千代田区立九段中

三田三園

暁星小学校、慶應義塾幼稚舎、晃華学園小学校、清明学園初等学校、東京学芸大学附属竹早小学校、東京女子館小学校、東京創価小学校、桐光学園小学校、宝仙学園小学校、立教女学院小学校、和光小学校、早稲田実業学校初等部

校名変更のお知らせ

聖徳大学附属中学校、聖徳大学附属高等学校と聖徳大学附属聖徳中学校、聖徳大学附属聖徳高等学校は平成22年4月1日より学校名を変更しました。
聖徳大学附属中学校 ⇒ 聖徳大学附属女子中学校
聖徳大学附属高等学校 ⇒ 聖徳大学附属女子高等学校
聖徳大学附属聖徳中学校 ⇒ 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校
聖徳大学附属聖徳高等学校 ⇒ 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
新校名により、一層地域との連携と、女子教育の充実を目指します。

(三月二十六日現在)

附属小学校

進化する造形展へ

第三回千葉県私立小学校造形展

附属小学校が平成十年
から特別参加している、神
奈川県私立小学校児童造形
展のノウハウを生かして創
設した千葉県私立小学校造
形展「二月二十五日(木)か
ら三月二日(火)」も、第三回
を迎えました。参加校はわ
ずか八校ですが、来場者数
は千五百六十人、出品点数
は二千三百四十四点のほ

りました。
附属小学校の展示の特色
は、平成二十一年度の方針
の一つ、「どの教科でも国語
力を高める」ことを図工で
取り組んだ成果を発表した
ことです。その一つが、授業
の感想などを書く「図工ノ
ート」の展示です。体験を言
葉で振り返ったノートを、
作品と一緒に並べました。



これからの造形展は、作品展示だけでなく、学習の過程が分かるようにすることで理解を得る必要がありま

す。今回の第四回には、授業での児童の様子や、指導者の思いが伝わるインターネットの放映を計画しています。
学校の「少なさ」や歴史の「浅さ」を逆に生かしたこの造形展の進化に、ご期待ください。

響け！「和」のハーモニー

「吹奏楽の夕べ」出演

一月二十日(水)、聖徳大
学川並香順記念講堂で毎年
恒例の「吹奏楽の夕べ」が行
われました。小学校からは、
三年生、四年生、吹奏楽クラ
ブが代表として出演しまし
た。曲目は吹奏楽クラブに
よる「歌劇『トスカ』より」、
吹奏楽クラブと合唱団による
「ありがとう」「夢の太陽」
の三曲です。

合唱の練習は、二学期か
ら音楽の授業を利
用して始
まりました。
初めは
歌うのが
難しく、児
童たちも苦戦していました
が、何回も歌っていくうち
にこの曲が大好きになっ
ていったようで、自然と笑顔
で歌えるようになりました。



いよいよ本番。舞台上上
がる前の児童たちからは緊
張しながらも、楽しもうと
する様子が伝わってきます。
吹奏楽クラブのさわやかな
演奏の後、総勢百七十三名
の合唱団が舞台上に並んだ
姿は迫力があり、いつも教
室で見る児童たちよりもと
ても頼もしく見えました。
「夢の太陽はこの手につかま
れるのを待ってる」という
最後の歌詞のところでは、
児童たちの全力の歌声が会
場に響き渡り、とても力強
い合唱となりました。

音楽担当の檜貝道郎教諭
からの「練習どおりの発表
を」という指導のもと、今
まで積み上げてきた成果を十
分に発揮し、会場から大き
な拍手を頂くことができた小
さな出演者たち。「とても気
持ちよかったです」「たくさ
んの拍手がもらえて、うれ
しかったです」という感想
や、「一人ひとりの表情から
やり逃げたという達成感と
自信が感じられます。自分
の夢へ向かって頑張ろうとす
る気持ちがさらに高まった
貴重な経験となりました。

クラスの「集団力」を育てる

「長なわ記録会」

附属小学
校では毎年
一月になる
と、各クラ
スで長なわ
跳びの練習
が始まりま
す。これは
体力や運動感覚を養うこと
もさることながら、何より

クラス内の結束を強めるこ
とをねらいとして行われて
いるものです。
冷たい風が吹き、身も心
も凍えそうなか、長なわ記
録会が一月二十八日(木)に
行われました。児童たちはと
ても元気で、日ごろの練習
の成果を発揮しようと、大
きな声で回数を数えたり、

タイムिंगをとる声を出し
たりと一生懸命な姿が見ら
れました。クラスが一つとな
ったすてきな記録会になり
ました。
いつもはこれで終わりとな
りますが、今年からは「短
なわのエキシビジョン」を始
めました。各クラス代表者
一名が、全校の前で短なわ
の技を紹介しました。代表
者の名前を呼ぶと、自然と
拍手や「頑張れ」などの声援も
聞こえて、温かい雰囲気の中、

行われました。二重跳びは、
今までできなかった一年生も
練習してできるようになり、
かっこいい姿を見せ、達成
感も味わうことができました。
最後にフィニッシュ技の
見せると、頑張った代表全員
に向けて大きな拍手が起き
ました。
一人ひとりの努力と友達
の協力、そして、ほめ合った
り真似し合ったりと、和の
心を十分に発揮した最高の
記録会になりました。

幼稚園短信

「お花が咲いたよ！」

「花育」に取り組んで

附属幼稚園

立春を過ぎたといえ、
まだまだ寒い二月の中旬、
幼稚園の花壇に黄色・ピン
ク・ブルーのピオラの花が
咲きました。幼稚園では、
「身近な花や緑に親しむこ
とにより、生命あるものへ
の優しさや愛おしさを感じ



る豊かな心を培う教育」と
して「花育」に、昨年十一
月よりNPO法人「Lumina」
のご協力を得て取り組んでい
ます。
小春日和の十一月六日
(金)に四歳児、五歳児の園
児がジョウロやスコップを
手に園庭に集まりました。
千葉大学園芸学部を卒業
し、「花」の専門家として活
躍されている高橋穂穂美さ
んにピオラの植え方や育て
方についてお話していただ
き、年長児は花壇に、年中
児はクラスのプランターにピ
オラの苗を植えました。わ
ずか、一センチ四方のポット
の中に双葉の間から本葉が
出たばかりのピオラの苗
を、おでこをつき合わせ視
き込んだ園児が不思議そう

に、「こんなに小さくてお花
咲くの？」と質問していま
した。小さな苗二百株を大
切に指でつまんで花壇やプ
ランターに植えながら、「き
れいなお花が咲きますよう
に」と苗に声をかけていま
した。
花壇にはピオラのほかに
イチゴ、キンギョ草、など
しこ、西洋パセリ、カモミ
ール、つわぶきなど一年を
通して草花と親しめるよう
にとたくさんさんの苗を植え
ました。

その後、ジョウロを手に
花壇にお水をあげる園児の
姿がよく見られるようにな
りました。そして、年が明
けた二月、「先生、ピオラが
咲いたよ」と宝ものを発見
したように知らせに来てく
れました。これまで「どんな
お花が咲くのかな」「本当
に花が咲くのかな」「お花
は、お水がごはんなんだよ」
などと言っていた園児たち。
二月の花壇に咲いた花を本
当にうれしそうに見ていま
した。そんな園児たちから
命あるものへの優しさや愛
おしさを感じ、本格的な春
の到来を心から楽しみにし
ています。



のお客様、園児たちにとっ
て全てが普段とは異なる環
境の中で本領発揮できるだ
ろうかという心配もありま
したが、みんな満面のほほ
笑みで喜んで演じている姿
に安堵しました。
満三歳児パンダ組は、幼
稚園生活の中でたくさん
友達とのあそびや他学年の
クラスとのかかわりを通し
て、集団生活のいろいろな
約束事を覚えたり、衣服の
着脱、排泄、食事など基本
的な生活習慣の自立に向け
て一年間指導してきました。
親元を離れられずに泣
いていた姿、オムツをして
いた姿、一人で身の回りの
ことができずに泣いていた
姿を振り返ると、心身の大
きな成長を感じました。

表現あそび

「たのしみショー」

附属第二幼稚園

二月七日(日)、表現あそ
び「たのしみショー」が
聖徳大学川並香順記念講堂
において開催されました。
「子育て支援」にこにこルー
ム」の満三歳児パンダ組も
リズムあそびを披露しまし
た。絵本「ママ、だいすき」
を題材に取り上げ、教員が
リズム構成をして、一年間
計画的に練習を積み重ねて
発表しました。園児たちは
かわい衣装を身に付け、
うさぎ、猫、猿などそれぞ
れの登場人物になりきっ
て、小さな身体を元氣いっ
ぱい動かし、手あそびをし
たり、身体表現を楽しみま



した。特に、「ママ、だい
すき」と言うせりふの場
面では、「わあー、かわいい」
の歓声と共にたくさん温
かい拍手を頂きました。初
めての大きな舞台、色とり
どりの照明、会場いっぱい
のお客様、園児たちにとっ
て全てが普段とは異なる環
境の中で本領発揮できるだ
ろうかという心配もありま
したが、みんな満面のほほ
笑みで喜んで演じている姿
に安堵しました。
満三歳児パンダ組は、幼
稚園生活の中でたくさん
友達とのあそびや他学年の
クラスとのかかわりを通し
て、集団生活のいろいろな
約束事を覚えたり、衣服の
着脱、排泄、食事など基本
的な生活習慣の自立に向け
て一年間指導してきました。
親元を離れられずに泣
いていた姿、オムツをして
いた姿、一人で身の回りの
ことができずに泣いていた
姿を振り返ると、心身の大
きな成長を感じました。



舞台上からの「ママ、
大好き」の園児たちの声が、
きつとお母様方の心に響い
たと思います。

さようなら！幼稚園 「卒園式」

三田幼稚園

桜のつぼみも膨らみ始める三月、卒園式が行われ

ました。卒園していく園児たちを見てみると、なぜか思い出すのは入園した時のころ。

「おうちに帰る」「ママはどこにいるの？」と親元から離れて初めての集団生活の子どもにとっては、何もかもが不安だったのでしょうか。そんな様子も日々、目を見張るような成長を遂げ、卒園式を迎えます。少し窮屈になった制服に身を包み、りりしく式に参加する園児たち。聖徳学園応援歌にあわせての入場、担任から名前を呼ばれて大きな声での返事、園長先生から一人ひとりに手渡される保育証書。「おめでとうございます」の言葉に、「ありがとうござい



ます」と大きな声で、保護者席にも十分聞こえる元気な声でお礼の言葉を言えるようになる園児たち。聖徳幼稚園の教育のねらいでもある「いつもここに元気な子ども」へと成長し、小学校へ巣立っていきます。

三田幼稚園の卒園生は、毎年四十数校の小学校に分かれてしましますが、全員そろって最後の一日は感無量であることは言うまでもありません。親子で卒園された方のご紹介も行い、父母となり、自分が経験した卒園式を思い出し、自分の子どもを卒園していく姿とをあわせて感動している姿が見られます。

「健康でたくましい子どもに」「だれとでも仲良くできる子どもに」「しっかりと約束の守れる子どもに」「あいさつのできる子どもに」「自分で考えて行動のとれる子どもに」の五つの柱(人間形成の基礎)を身に付け、社会での「聖徳の卒園生」としての活躍を期待しています。

新入園児 たのしみまじり

附属浦安幼稚園

東京地方に初雪の降った次の日、二月三日(水)に平成二十二年に入園する、

幼児、保護者を対象とした「新入園児たのしみまじり」が開催されました。

期待に胸膨らませ、防寒着に身を包んでお母様と手をつなぎ、元気のよい笑顔

そして声をかけると、はにかんでいる幼児の顔が受付にありました。

受付後、ホールに案内され、親子で椅子に座り、始まるまで手あそびをし、会

楽しい給食「何でも 食べる子、丈夫な子」

多摩中央幼稚園

元気に登園すると、すぐに着替えて外へ飛び出して遊んだり、室内ではプロツクやおままごとをしたりと遊ぶことが大好きな園児たちです。そんな園児たちが次に好きなものは、おいしいおいしい給食です。いっぱい遊んでお腹をぺこぺこにしたいと給食はおいしく、おかわりをする子どもも多く、時には「おかわりはおしまいです」の給食の先生の声にがっかりする園児たちです。

しかし、給食が大好きになるまでは時間がかかる園児もいました。四月末より給食が始まり、お皿に苦手の野菜がのっていると、それを

を見て何人も園児が「先生減らしてください」と行列ができてしまうほどでした。しかし、友達同士の影響力はすばらしいもの

が始まるのを待ちました。園長先生が「今日から皆さんは聖徳浦安幼稚園の子どもですよ」「ここでは、お菓子を食べながら見たりしません」「立ったり歩いたりしません」「ありさんの声は小さいです。熊さんの声は大きいです」「お友達はおはようございますと大きい声で言います」とお話をしました。

三歳児のリズムあそび「大きなかぶ」、四歳児のリズムあそび「いろいろなへんないろのはじまり」では、未就園児もいつの間にか舞台上に引き付けられたように、ステージの発表を見入って

で、友達が野菜をおいしそうに食べているのを隣で見ていると、いつの間にか嫌いだっつた野菜も食べられるようになり、「先生減らしてください」という声の数人に減り、その様子を見てみると、友達と集団生活の中で食べることの大切さを改めて感じました。

また、箸の持ち方も少しずつ身に付け、給食中は反対の手をお皿に添えていたたり、お腹につくぐら椅子を引くなど、いくつかの約束を常に意識していると、目を重ねることに給食中のマナーもよくなりました。「残さず、きれいに食べないとだめなんだよ」と、友達同士励まし合いながら身に付けていきました。成長期の園児た

ました。そして舞台での、役の踊りやせりふが終わると、一場面毎にお母様と一緒に手をたたいている姿もありました。五歳児の歌と合奏では、「犬のおまわりさん」を首を振りながら聞き、合奏では、大太鼓や小太鼓、シンバルの音に「わあ」と感嘆の声がりました。全部のプロラムが終わって、四、五歳児が手に色とりどりの風船とおみやげ袋を持って、未就園児一人ひとりに「また来てね」「面白かった？」と声をかけながら渡し、全園児が廊下に作った花道の中を通り、幼稚園を後にしました。

ドキドキの 入園式・進級式

八王子中央幼稚園

桜の花が満開に咲き誇る中、幼稚園では「入園式・進級式」が行われます。

新入園児たちは、真新しい大きな制服に身を包み、保護者の方と手をつなぎ、不安や緊張で表情が少し硬くなりながら登園してきます。進級園児は、新しいクラス、友達や先生に期待を持ち、一つお兄さん、お姉さんになったことを喜び、登園してきます。玄関ではクラス発表を見て、「○○ちゃん一緒だね」と、喜びの声があちらこちらから聞こえてきます。ホールで行われる入園式・進級式では、新入園児たちは、保護者の方から離れ



られず、涙を流す姿や立ち歩いてしまったりする姿も見られますが、その隣で進級園児がきちんと椅子に座り、大きな声で返事をしている姿に、一、二年の幼稚園生活の経験の大切さを感じます。式の中では、副学

園長、園長先生、来賓の先生のお話を聞いたり、園長先生より新しいクラス

の先生の発表が行われたりします。その後は、先生と一緒に手あそびをして遊びます。それまで泣いていた園児たちも、笑顔になり、一緒に手あそびを楽しむ姿が見られます。式後には、どの園児たちもすてきな笑顔を見せて、これから始まる幼稚園生活にいろいろな期待を持ちながら、元気に降園してきます。園児たちにとって、期待で胸がいっぱいの入園式・進級式となっています。



「オニはそと」「フクはうち」と、二月三日(水)、節分の日、幼稚園ホールでは元気な声が響き渡りました。全園児で豆まき会を行ったのです。園児たちは登園してきた時から、「今日は豆まきする？」「鬼が来るんでしょ」「豆を投げて鬼をやっつけるんだ」など、はりきっている様子があがりました。

ホールに全園児がそろい、節分の由来のお話を聞き、「みんなの心の中にある悪い鬼も追い出しましょうね」と言われると、「はい」と元気よく答えていたものの、音楽が鳴り、鬼たちが

と、年少児は先程の元気がどこへやら、先生の後ろに隠れたり、泣き出ししたり、またあつげにとられて豆を投げるのを忘れて、ぼうぜんと鬼を見ている園児もいました。年中・年長児になると怖がる園児も少なくなり、「僕の豆、鬼に当たったよ」「本物かな？」などと、鬼がいなくなつた後、友達同士で話していました。中には

スモックのポケットに豆が残っているのを見付けて、必死に鬼めがけて投げている幼児もあり、ほほ笑ましく感じられました。

各保育室に戻った後、園児たちは自分で折った、折り紙の三方に、年の数だけ豆を入れてもらい、その豆を食べて厄をはらいまし

た。

た。

平成22年度 シリーズコンサート予定表 (H22.3.26現在)

Table with columns: 月/日, 時間, 演目. Lists concert dates from April to December, including events like '聖徳学園「入門コンサート」' and '第37回 聖徳学園「能楽鑑賞会」'.

平成22年度 春期公開講座の受講生を受付中!

ワクワクする楽しさ新発見! ~年間約450講座を開講~

聖徳大学オープン・アカデミー(SOA)では、現在、春期(1期4~7月開講)講座の申込受付を行っております。

Table with columns: 講座名, 春期開講予定講座(抜粋), 講師名. Lists various courses like '子どもと育児・教育を考える講座' and 'ポップ音楽よもやま話'.

平成22年度 SOA オープニングセレモニー開催

Event details for SOA Opening Ceremony on April 17th. Includes speaker profile for 桂文楽氏 (Kai Fumikazu), a featured mini-concert, and contact information.

平成22年度 保護者会・後援会 開催日程 (H22.3.26現在)

Large table listing parent and supporter meeting dates for various departments: 大学・短期大学部, 専門学校, 附属4園, 三田3園.

同窓会年間行事予定表のご案内

Table listing alumni association events such as '聖徳学園菊水会', '香和会', 'ひじり会', '爽和会', '聖朋会', '秋和会', 'かをり会', '菊水会', 'すなお会', '知水会', 'なごみ会', 'わかば会', '和香竹会'.

信州春日温泉 かすが荘

Advertisement for Sakaga Ryu, a hot spring resort. Includes pricing, reservation info, and details about the 'Sakaga Balloon Festival 2010'.

Address and contact information for Seitoku Gakuen (東京聖徳学園), including phone numbers and website links.

Reader's Voice section with a message from the school and a link to a survey: http://www.seitoku.jp/gakuen/flash/